

成人看護学演習Ⅱ

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 武田 邦子 講師		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	3	区分・時間数	演習 22.5 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

・学修方針（講義概要等）

成人期にある者およびその者の家族等を対象とした急性期から慢性期を通じた看護に関して、特に、急性期に焦点をあてた実際の方法について、演習を通して学ぶ。具体的には、成人看護方法論Ⅱで取り組んだ事例をシミュレーターや模擬患者を活用して再現し、成人看護方法論Ⅱで学んだアセスメントや看護ケアについて、演習を通して実践する。その際、事例への看護ケアは、臨床現場を意識し、臨床判断、問題解決および優先順位をつけるなどを時間管理の能力を身に付ける。

・教育成果（アウトカム）

クリティカルケア及び周手術期の看護を実践するにあたって必要な知識・技術を、シミュレーション・シナリオでの実践を通して体得できるようになる。PBL や TBL 等のグループ実践を通して、クリティカルケア及び周手術期にある者へ質の高い看護を提供するために必要なコミュニケーションスキルに関する知識・技術を体得できるようになる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：2, 3, 4, 5, 6, 7

・到達目標（SBO）

1. 成人看護学方法論Ⅱをふまえ、クリティカルケア及び周手術期の看護を実践するにあたって必要な、生物学・解剖学・生理学・病理学・薬理学・社会学及び発達段階に関する知識から得た知見を、患者の潜在的・顕在的な健康問題への看護としてシミュレーションシナリオの中で実演できる。
2. 成人期のクリティカル及び周手術期にある者について、アセスメントした内容を踏まえ、その時の臨床判断・問題解決の内容、優先順位を考え、決定した根拠について述べるができる。
3. 成人期のクリティカル及び周手術期にある患者の特徴について、アセスメントした内容を踏まえ、援助を実践できる。

・授業日程

(矢) マルチ 4-A 講義室、(矢) マルチ 2-A 実習室、(矢) マルチ 2-B 実習室

【演習】

月日 (曜) 時限	講座(学科) 担当教員	授業内容/到達目標
4/13 (木) 1限	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師	術前の看護技術① ・術前管理の要点を述べるができる ・呼吸訓練の術前指導を計画し、実践できる
4/13 (木) 2限	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師	術前の看護技術② ・床上リハビリの術前指導を計画し、実践できる ・術後の患者の状態を理解し、術後に必要な準備を実践できる
4/26 (水) 3限	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師	術後の看護技術① ・術後の管理の要点を述べるができる ・術後の早期離床の目的を理解し、援助を実践できる ・術後の観察ポイントを理解し、飲水食開始のアセスメントを実践できる
4/26 (水) 4限	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師	術後の看護技術② ・12誘導心電図の測定を実践できる ・術中・術後における急変時の心電図モニタリングの必要性を理解できる
5/10 (水) 3限	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師	術後の看護技術③ ・術後の管理の要点を理解し、床上安静中の生活の援助を実践できる ・術後におけるドレーン挿入中の患者の状態観察を行いながら、清潔の援助を実践できる
5/10 (水) 4限	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師	術後の看護技術③ ・シミュレーションシナリオを用いて、ストーマ管理の指導を実践できる
5/17 (水) 3限	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師	術後の看護技術④ ・術後褥瘡が発症した際の創傷処置を実践できる ・周術期における経管管理が必要となった場合の経管管理を実践できる

5/17 (水) 4限	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師	術後の看護技術⑤ ・呼吸器管理中のアセスメント及び、必要時に吸引を実践できる
5/24 (水) 3限	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師	術後の看護技術⑥ ・脳神経機能の評価を理解し、実践できる ・症状に合わせたコミュニケーションツールを考え、筆談や文字盤によるコミュニケーションを実践できる
5/24 (水) 4限	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師	術後の看護技術⑦ ・頸椎損傷により、ベッド上安静及び、装具を使用している患者への食事に対する援助を実践できる
5/31 (水) 3限	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師	救急外来・ICUにおける看護技術① ・末梢静脈カテーテルの管理を実践できる ・輸液管理を実践できる
5/31 (水) 4限	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師	救急外来・ICUにおける看護技術② ・輸血管理が必要な患者を理解し、輸血を準備できる
6/7 (水) 2限	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師	救急・集中治療時の看護技術① ・一次救命処置（BLS）必要性を理解し実践できる
6/7 (水) 3限	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師	救急・集中治療時の看護技術② ・病棟外における急変の対応を実践できる
6/7 (水) 4限	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師	救急・集中治療時の看護技術③ ・病棟における急変の対応を実践できる

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	看護学テキスト NICE 成人看護学 成人看護技術 改訂第 3 版	野崎真奈美他編著	南江堂	2022
参	根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 第 3 版	任和子他編著	医学書院	2021

・成績評価方法

定期試験 70 点、授業内での試験 20 点、授業内での演習状況及び、事前課題・演習時の提出物も含む 10 点 合計 100 点により評価する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

- ・毎回の授業で指示される課題に従って、各回最低 30 分以上の予習・復習を行うこと。
- ・講義 1 週間前に WebClass で出題される事前課題を印刷し、課題に取り組むこと。
- ・講義 1 週間前に WebClass で出題される次回の講義内容を事前に確認し予習して講義に臨むこと。
- ・講義内容のプリントに記載された関連項目を(e-ナーストレーナー等)を視聴し、演習に臨むこと。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

- ・講義 1 週間前に WebClass のテストに関する事前課題を提示、その範囲から小テストを授業の始めに行う。
- ・各グループで役割を交替しながらシミュレーションと振り返りを行う。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表 3）：専門分野Ⅱ 成人看護学

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（VPL-FWZ60）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影
演習	心電図モニター	2	シミュレーターを活用した技術修得のため
演習	万能型看護実習モデル“八重”（MW25）	8	シミュレーターを活用した技術修得のため
演習	フィジコ	4	シミュレーターを活用した技術修得のため
演習	レサシアン	12	シミュレーターを活用した技術修得のため
演習	AED	12	シミュレーターを活用した技術修得のため